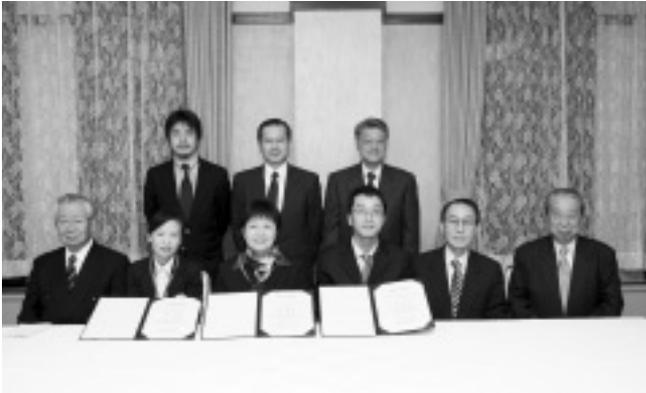


平成18年度研究助成金交付者

外国人若手研究者への助成は大学耳鼻咽喉科学教室にて現在研究を行っている留学生を対象とするもので、18年度は4名の留学生が助成を受けました。



平成18年12月5日 研究助成金交付式(学生会館)

1. 汪 际云(中国)
昭和大学(主任：洲崎春海教授)
研究テーマ：鼻茸上皮細胞のToll-like receptorの存在と機能
2. 王 麗娟(中国)
日本医科大学(主任：八木聰明教授)
研究テーマ：鼻茸の発生と再構築における機序解明：肥満細胞と上皮細胞の役割
3. 金 玉連(中国)
東京大学(主任：加我君孝教授)
研究テーマ：高度難聴乳幼児の人工内耳術前後に出現するVEMPの起源に関する研究
4. Abelardo Edgardo(フィリピン)
熊本大学(主任：湯本 英二教授)
研究テーマ：カドヘリン-カテニン複合体とPAR-3/PAR-6/aPKC 複合体との相互作用におけるβカテニンの関与

平成19年度研究助成金交付募集について

研究助成金の申込み締め切りは毎年9月30日です。助成金の交付を希望する方は所定の申請書類をお送りしますので事務局までご連絡ください。あるいは申請書をホームページからダウンロードしてご利用ください。(http://www.spio.or.jp)

なお、交付者並びに交付金額は選考委員会にて書類選考の上決定します。また、過去に助成金を受けた人も対象になります。推薦者がSPIOの賛助員でない場合は加入をお願いします。

SPIO Prize

第107回日本耳鼻咽喉科学会総会の招待講演者、スウェーデンのウプサラ大学 Matti Anniko 教授へ耳鼻咽喉科学領域への業績と貢献に対してSPIO Prize の賞状と賞金が贈呈されました。

その他に、第17回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会における特別講演の講師として、アメリカ合衆国ピッツバーグ大学 Jonas T. Johnson 教授招聘に対する助成が行われました。

SPIO Award

SPIO Awardにつきましては、毎年Auris Nasus Larynx (ANL) に掲載された原著論文の中より、優秀原著論文1篇について、その著者に賞状と賞金(5,000ドル)を贈呈しています。ただし、筆頭著者は45歳以下。また、受賞者には日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会において講演の場が与えられます。これは平成13年から始まり今までに4名の受賞者を選出しました。

平成18年度は37篇の中から対象となる31篇を審査した結果、福井大学の都築秀明氏が選ばれました。

Hideaki Tsuzuki. Oral and oropharyngeal squamous cell carcinomas expressing CCR7 have poor prognoses, ANL Vol.33, No.1, 37 - 42

19年度におきましても多くの優れた論文が日本国内だけでなく海外からもANL誌に寄せられることを期待しています。

SPIO出版

日本の研究を英文の学術書として出版することはSPIOの寄付行為(定款)にも適った事業であります。しかしすぐに出来るわけではありません。SPIOでは差し当たり賛助員の皆様の業績集、宿題報告書、退任記念誌等を自費出版する場合の編集協力から始めたいと考えております。

SPIO出版に関心がお有りの方は事務局へお問い合わせ下さい。申請をいただき、理事会で承認された後、専門の編集コーディネーターが構成、レイアウト、装丁等のお世話をいたします。